

細見美術館

てんが

# 典雅なる御装束

おんしょうぞく

京都国立博物館所蔵—宮廷のオートクチュール—

平成23年

10月1日〔土〕

—11月27日〔日〕



## Graceful Appearances

Kyoto National Museum Collection Haute Couture of the Japanese Court

主催=細見美術館 京都新聞社 特別協力=京都国立博物館 協力= HOSOO KYOTO

後援=第26回国民文化祭京都府実行委員会

休館日=毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日) 開館時間=午前10時~午後6時(入館は、午後5時30分まで)

会場=細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>

一般/1,000円+800円 学生/800円+600円 本館にて4名様まで200円引 HOSOMI MUSEUM





五衣・唐衣・裳装束(十二単)  
秩父宮勢津子妃所用

楡扇  
秩父宮勢津子妃所用



## 盛儀の衣裳



裳 白穀織地 纏裾濃松竹梅尾長鳥文様附絵 秩父宮勢津子妃所用

# 典雅なる御装束

京都国立博物館所蔵

— 宮廷のオートクチュール —

平成23年  
10月1日(土) — 11月27日(日)

※会期中、展示替があります。  
詳しくはお問合せください。

## 宮廷衣裳のさまざま

宮中の儀式に用いられる様々な装束は、千年以上もの歴史に培われた有職の伝統に則り、技術と美意識の粋を集めて調整されるものです。国内において最も格式の高い服飾儀礼を象徴し、近代には海外の文化をも摂取して、独自のスタイルを築きあげてきました。

本展では、京都国立博物館ご所蔵の有栖川宮家・秩父宮家の御装束をはじめとする公家服飾の数々を「盛儀の衣裳」・「宮廷装束のさまざま」・「若君・姫君の世界」の3つの章に分けて展観します。束帯・十二単といった宮廷装束の正装から、普段目にする機会の少ない正装以外の宮廷装束や公家の子供の衣服などを通して、宮廷文化の一端をご紹介します。

振袖 紅縮緬地 藤花飛鶴文様刺繍



## 若君・姫君の衣裳



小直衣 麴塵地 三菊紋 透紋紗  
有栖川宮織仁親王所用



浅沓  
秩父宮康仁親王所用

### 会期中のイベント

■ イベントは、事前申込制・有料。  
詳細についてはホームページにて公開。

#### □ ギャラリートーク

■ 古香庵茶会・茶事  
特別企画「口切の茶事」  
11月4日(金)・5日(土)

気軽に茶会体験「紅葉のミニ茶会」  
10月8日(土)・9日(日)

#### ■ お花入門

「季節の花かざり〜秋篇・和のあしらいを愉しむ〜」  
10月14日(金)・15日(土)



被布 黒ビロード地 三菊紋散らし菊流水文様刺繍

御所人形 被布立姿



※作品は全て京都国立博物館所蔵



## 細見美術館

●市バス「東山二条」下車 徒歩3分  
●市バス「京都美術館前」下車 徒歩5分  
●地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩10分  
ご来館には公共交通機関をご利用下さい。

次回展  
予告

「華麗なる京詩絵  
— 三井家と象彦漆器 —」

2011年12月3日[土]  
～ 2012年1月29日[日]